



平成 25 年 8 月 21 日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊東 信一郎
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 グループ総務・CSR部長 今西 一之
(TEL . 03-6735-1001)

2013年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画の一部変更に関するお知らせ

当社 100%子会社の全日本空輸株式会社において、2013 年度下期のANAグループ国際線・国内線航空輸送事業計画の一部を変更いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

2013年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画を一部変更

～ 旺盛な訪日・アジア⇄北米間接続需要に対応し、アジア路線の供給量を拡大～

ANAグループは、2013年度下期の国際・国内線航空輸送事業計画の一部を変更致しました。

ANAグループは、今年度の羽田空港国内線発着枠の増加と2014年度に迎える首都圏空港発着枠拡大を最大活用し、既存の日系エアラインのみならずアジア・欧米・中東の大手エアラインに加え、事業規模を拡大するLCCとの厳しい競争環境の中で勝ち残るエアラインとなるため、フルサービスキャリアとしてサービスの充実・強化はもとより、更なるネットワーク拡充による競争力強化を図っていきます。

国際線事業においては、2014年度に迎える羽田空港国際線2次増枠に向けた基盤作りを実施していくと共に、北米路線の増便によるネットワーク強化にあわせて、アジア路線の供給量を拡大し、訪日需要とアジア⇄北米間の接続需要に重点を置いたネットワークキャリアとしてのビジネスモデルの強化を推し進めていきます。

また国内線事業においては、引き続き路線計画・運航機種の最適化を推進し、更にお客様の利便性を向上できるよう国内線ネットワークの充実を図っていきます。

国内線、国際線の路線便数、運航機種等の詳細は以下の通りです※1。

※1 これらの計画は関係当局の認可を前提としております。また、スケジュールは予定であり、都合により変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

1. 国際線

2012年度のシアトル線開設、ニューヨーク線増便、サンノゼ線開設、そして2013年9月1日からのシカゴ線増便により、北米路線のネットワーク強化を図っておりますが、訪日需要と成田空港をハブとしたアジア⇄北米間の接続需要に対して更に対応する為、2013年下期からアジア路線を中心に投入機材を大型化し、供給量を拡大いたします。

(1) 機種変更

路線	実施時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田＝成都	2013年10月1日	B737-700	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	※2
成田＝シンガポール	2013年10月1日	B767-300ER	14往復/週	B767-300ER B787-8	7往復/週 7往復/週	※3
成田＝バンコク	2013年10月27日	B767-300ER	14往復/週	B767-300ER B777-200ER	7往復/週 7往復/週	※4

※2 ANA NEWS 第13-072号(2013年7月24日付)にて発表済み。

※3 ANA NEWS 第13-064号(2013年7月4日付)にて発表済み。10月27日より全便にボーイング787-8投入。

※4 NH915/NH916にボーイング777-200ERを投入予定(バンコク発は10月28日より機種変更)。

路線	実施 時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田＝上海(浦東)	2013 年 10 月 27 日	B777-200ER B767-300ER B777-300ER	7 往復/週 7 往復/週 7 往復/週	B787-8 B767-300ER B777-300ER	7 往復/週 7 往復/週 7 往復/週	※5
関西＝青島	2013 年 10 月 27 日	B737-700	7 往復/週	B767-300ER	7 往復/週	
関西＝北京	2013 年 10 月 27 日	B737-700	7 往復/週	B767-300ER	7 往復/週	
羽田＝シンガポール	2013 年 10 月 27 日	B767-300ER	7 往復/週	B787-8	7 往復/週	
羽田＝ソウル(金浦)	2013 年 10 月 27 日	B777-200ER	21 往復/週	B767-300ER B777-200ER	14 往復/週 7 往復/週	※6
成田＝ジャカルタ	2014 年 2 月 1 日	B767-300ER	7 往復/週	B787-8	7 往復/週	
成田＝北京	2014 年 2 月 1 日	B787-8 B767-300ER	7 往復/週 7 往復/週	B767-300ER	14 往復/週	

※5 NH919/NH920 にボーイング 787-8 を投入予定。

2013 年 9 月 30 日から NH921/NH922 にボーイング 777-300ER を投入予定(上海発は 10 月 1 日より機種変更)。

※6 NH1161/NH1162、NH1165/NH1166 にボーイング 767-300ER を投入予定。

※当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

(2) 期間運休・期間減便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
中部＝上海(浦東)	2013 年 10 月 27 日	7 往復/週	—	※7
成田＝成都	2013 年 10 月 27 日	7 往復/週	4 往復/週	※8

※7 ウィンターダイヤ期間(2013 年 10 月 27 日～2014 年 3 月 29 日)運休。

※8 ウィンターダイヤ期間(2013 年 10 月 27 日～2014 年 3 月 29 日)は 4 往復/週に減便。成田発:月・火・木・土曜日運航、成都発:火・水・金・日曜日運航[ANA NEWS 第 13-072 号(2013 年 7 月 24 日付)にて発表済み]。

(3) プロダクト・サービスの導入について

～ ボーイング787型機長距離国際線機材にプレミアムエコノミーサービスを導入～

長距離国際線(欧米路線)にて運航しているボーイング777-300ERで、大変好評を頂いているプレミアムエコノミーのシートプロダクト・サービスを、順次ボーイング787型機※9に導入していきます。

2013年9月1日より、羽田＝フランクフルト線においてプレミアムエコノミーサービスを開始いたします。また、通常の運賃に加えて、10月1日からはプレミアムエコノミーをお得にご利用いただける運賃を、8月22日(木)から期間限定で発売開始いたします(ご予約・ご購入は最初の国際線搭乗日の21日前まで)。

＜販売期間＞2013年8月22日(木)～2013年12月23日(月)

＜設定期間＞2013年10月1日(火)～2014年 1月13日(月) 日本出発分

ANAは「Inspiration of Japan」のブランドコンセプトのもと、ANAブランドをますます魅力あるものへと発展させ、上質なサービスを世界中のお客様にお届けいたします。

※9 座席仕様:ビジネスクラス 46 席、プレミアムエコノミークラス 21 席、エコノミークラス 102 席(合計 169 席)



2. 国内線

国内線ネットワークの拡充を図りながら、時季ごとの需要動向を踏まえ、路線・マーケットに応じた運航機材の最適化を推進いたします。

また、長年ANAグループの主力機種として、幹線路線を中心に活躍したボーイング747-400型機は、2013年度末に全機退役を予定しております。

再開路線の運賃については、別紙をご確認ください。

(1)再開・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝広島	2013 年 10 月 27 日	8 往復/日	9 往復/日	
羽田＝徳島	2013 年 10 月 27 日	4 往復/日	5 往復/日	
羽田＝札幌	2013 年 10 月 27 日～ 2014 年 1 月 31 日	18 往復/日	19 往復/日	期間増便
札幌＝紋別	2013 年 10 月 27 日～ 2014 年 1 月 31 日	—	1 往復/日	再開
伊丹＝福岡	2013 年 10 月 27 日	9 往復/日	10 往復/日	※10
伊丹＝秋田	2013 年 10 月 27 日	2 往復/日	3 往復/日	
仙台＝札幌	2013 年 10 月 27 日	4 往復/日	5 往復/日	※10

※10 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては、ANA 時刻表または ANA SKY WEB をご確認ください。

(2)減便・期間運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝函館	2013 年 10 月 27 日	3 往復/日	2 往復/日	
羽田＝釧路	2013 年 10 月 27 日	2 往復/日	1 往復/日	
羽田＝紋別	2013 年 10 月 27 日～ 2014 年 1 月 31 日	1 往復/日	—	期間運休 ※11
伊丹＝沖縄	2013 年 10 月 27 日	3 往復/日	2 往復/日	※12
伊丹＝仙台	2013 年 10 月 27 日	9 往復/日	8 往復/日	

※11 2014 年 2 月 1 日から運航再開いたします。期間運休中は、札幌＝紋別線を再開し、羽田～札幌～紋別間にて乗り継ぎでのご利用が可能になります。

※12 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては、ANA 時刻表または ANA SKY WEB をご確認ください。

3. 貨物専用便

7 月より開始している日本貨物航空(株)からのチャーター機材活用による機材稼働効率向上を、下期以降も引き続き実施し、収益基盤を強化します。また、2013年度末には、10機目となるボーイング767-300F貨物専用機を受領し、貨物事業の事業拡大を目指します。

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝広州	2013 年 10 月 27 日～ 2014 年 3 月 3 日	—	B6F(3 往復/週)	※13
沖縄＝青島	2013 年 10 月 27 日	—	B6F(6 片道/週)	

※13 2014 年 2 月 5 日～3 月 3 日は 2 往復/週運航

以 上

■別紙 札幌＝紋別線(2013年10月27日～2014年1月31日搭乗分) 運賃一覧

割引率は当該期間の片道運賃より算出しております

路線	片道運賃 (ピーク)	片道運賃 (通常)	往復運賃		往復運賃		小児運賃		小児運賃		身体障がい者割引運賃	
			(ピーク)	割引率 %	(通常)	割引率 %	(ピーク)	割引率 %	(通常)	割引率 %		割引率 %
札幌紋別	19,700	17,500	16,400	▲ 17	15,600	▲ 11	9,850	▲ 50	8,750	▲ 50	11,200	▲ 36

路線	ビジネスリポート		ビジネスリポート		ビジネスリポート		ビジネスきっぷ		ビジネスきっぷ		ビジネスきっぷ		出張@割		出張@割		出張@割	
	(ピーク1)	割引率 %	(ピーク2)	割引率 %	(通常)	割引率 %	(ピーク1)	割引率 %	(ピーク2)	割引率 %	(通常)	割引率 %	(ピーク1)	割引率 %	(ピーク2)	割引率 %	(通常)	割引率 %
札幌紋別	16,400	▲ 17	16,400	▲ 17	13,800	▲ 21	16,400	▲ 17	16,400	▲ 17	14,800	▲ 15	16,400	▲ 17	16,400	▲ 17	14,800	▲ 15

路線	スカイメイト		スカイメイト		シニア空割		シニア空割		介護割引		介護割引	
	(年末年始)	割引率 %	(通常)	割引率 %	(年末年始)	割引率 %	(通常)	割引率 %	(ピーク)	割引率 %	(通常)	割引率 %
札幌紋別	11,800	▲ 40	9,650	▲ 45	11,000	▲ 44	9,000	▲ 49	12,800	▲ 35	11,400	▲ 35

路線	プレミアム運賃		プレミアム小児運賃		プレミアム 身体障がい者割引運賃	プレミアム 株主優待割引運賃		プレミアム小児 株主優待割引運賃	
	(ピーク)	(通常)	(ピーク)	(通常)		(ピーク)	(通常)	(ピーク)	(通常)
札幌紋別	23,100	22,200	14,850	13,750	16,200	14,850	13,750	9,950	9,400

(通常)10月27日～12月5日、1月6日～1月31日
(ピーク)12月6日～1月5日
(ピーク1)12月13日～1月5日 (ピーク2)12月6日～12月12日
(スカイメイト/年末年始)12月6日～1月5日
(シニア空割/年末年始)12月20日～1月5日